iPad Pro 9.7インチ オープニング方法

必須条件ガイド。この修理ガイドには、iPad Air 2 Wi-Fi...

作成者: Arthur Shi

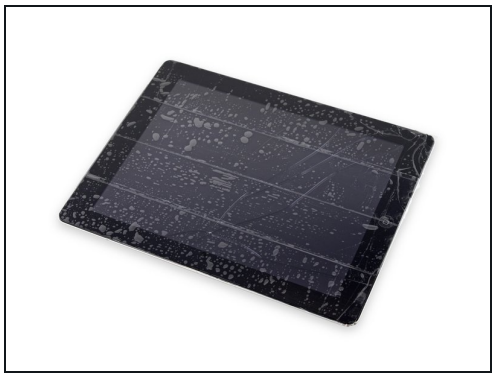
はじめに

必須条件ガイド。この修理ガイドには、iPad Air 2 Wi-Fi の開口方法からのコンテンツを複製しています。Air 2の開口方法はディスプレイをヒンジのようにして、違う方向に向けて開口します。

ツール:

iOpener (1)
ハンドル付き吸盤 (1)
iFixit開口用ピック(6枚セット) (1)
Anti-Clamp (1)

手順 1 — iPad Pro 9.7インチ オープニング方法



- ディスプレイガラスにヒビが入っている場合は、作業中さらに程度が酷くならないように、ガラスにテープを貼って怪我を防ぎます。

- 透明な梱包用テープをiPadディスプレイ表面に貼ってください。ディスプレイ全体を覆います。

  ⓘ こうすることで、ディスプレイをこじ開けて持ち上げる際に、ガラスの飛散を防ぎ、全体の構造を保つことができます。

- このガイドになるべく沿って作業を進めてください。しかしながら、ガラスが壊れている場合は、作業が進むにつれて程度が酷くなる場合があります。その場合は、金属のツールでガラスを綺麗に除去する必要があります。

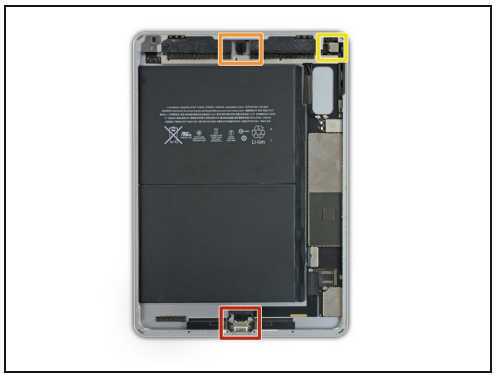
⚠ ひび割れたLCDスクリーンから目を安全に保護するため、保護用メガネを必ず装着してください。

手順 2

ⓘ iOpenerを使ってフロントパネルを固定している接着剤（両面テープ）を柔らかくします。iOpenerは、30秒以上電子レンジで温めないでください。

- 両側のタブを持って、温めたiOpenerをiPadの上部端に載せます。
- iOpenerをiPad上に約2分間置きます。iPad全体とフロントパネルを固定している接着剤が柔らかくなります。

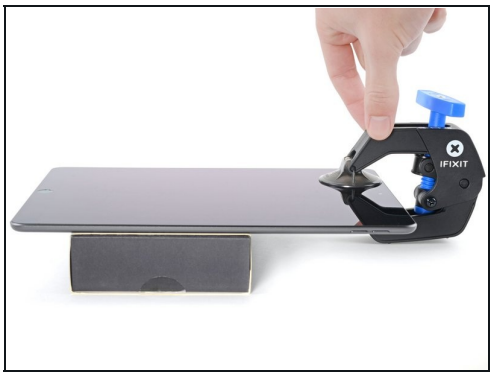
手順 3

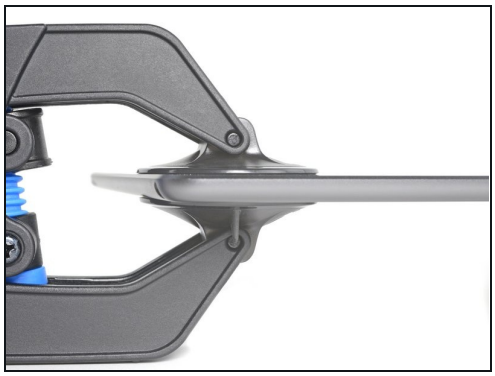


ⓘ iPadは外側から見ると、同じに見えますが、フロントガラスのある部分の下には、ボタンの配線やカメラ等が搭載されています。ダメージを与えないように、下に記載されたエリアは、必ず接着剤を温めてから、やさしく開けてください。

- 画像に従って、次のエリアをこじ開けないようにご注意ください。
  - ホームボタン
  - フロント向きカメラ
  - メインカメラ

手順 4 — リバースクランプの使用方法





ⓘ 次の2つの手順では、デバイスの開口作業を簡単にするために開発されたツール、リバースクランプの使い方を紹介します。**リバースクランプを使用しない場合は、この2つの手順をスキップして別の方法をご覧ください。**

ⓘ ヘアドライヤーでデバイスを温める際は、こちらのガイドを参照してください。

- ここに翻訳を挿入する
- 青いハンドルをヒンジ側に引くと、オープニングモードが解除されます。
- 吸盤カップをiPadの上端付近に装着します。上部に一つ、下部に1つずつ取り付けます。
- カップを押し下げることで、目的の部位に吸引力を加える。

ⓘ 作業中のデバイス表面が滑りやすく、吸盤がうまく装着できない場合は、梱包用テープを表面に貼ると、よりグリップ力を強めることができます。

手順 5

- 青いハンドルをヒンジから離し、オープニングモードにします。

- カップが両側を引っ張り始めるまで、ハンドルを時計回りに回してください。

  ⓘ 吸盤の位置が合っていることを確認してください。位置がずれてきた場合は、吸盤を少し緩めてアームの位置を合わせてください。

- 1分ほど待つと、粘着剤が剥がれ、隙間ができます。

- リアカバーとフレームの隙間にオープニングピックを差し込みます。

  ⓘ クランプで十分な隙間が作れない場合は、さらに接着面に熱を当てて、クランプを1/4程度時計回りに回してください。

  ⚠ 一回ごとの作業で1/4以上回さないでください。クランプをまわしたら1分間待ってください。リバースクランプの効果を待ってから、作業を続けてください。

- **次の2つの手順をスキップします。**

手順 6

- iPadの前面カメラの上に吸盤を装着して、しっかりと吸着させるために押し込み、吸盤内部の空気を抜きます。

  ⓘ しっかりとした吸着力を得るには、吸盤カップをできるだけ端に近い位置に取り付けてください。ディスプレイからはみ出さないようにしてください。

手順 7

- 吸盤カップをしっかりと引き上げて、フロントパネルとハウジングの間に小さな隙間を作ります。

  ⚠ ガラスが割れてしまうことがあるため、強く引っ張らないでください。

- 十分な隙間が開いたら、隙間にピックを差し込み、接着剤が再びくっつくことを防ぎます。

手順 8

- ピックをディスプレイ周辺に沿ってスライドし、ヘッドホンジャック付近まで到達させます。
  - 開口ピックをスライドする際に、かなりの抵抗感を感じたら、 iOpenerを温め直してください。

⚠ ディスプレイエリア内部のベゼルを超えて、開口ピックを差し込まないでください。内部の基板やパーツにダメージを与えてしまいます。

ⓘ 目安としては、開口部ピックを0.5cm以上、iPad内側に挿入しないことです。

手順 9

- フロント向きカメラ付近に、2枚目の開口ピックを差し込みます。

手順 10

- iPadの上部端に沿って2番目の開口ピックを、スリープ/スリープ解除ボタン側に向けてスライドします。

手順 11

- フロント向きカメラ付近に、3枚目の開口ピックを挿入します。

手順 12

- iPadの右上コーナー周辺を、開口ピックで前後にスライドします。

手順 13

- タブレットの左上コーナー周辺に、開口ピックを前後にスライドします。

手順 14

- iOpenerを再度温めて、ディスプレイの右端に載せて、右側の接着剤を柔らかくします。

手順 15

- 右側の開口ピックを、ディスプレイ半分あたりまでスライドします。

手順 16

- iOpenerを再度温めて、iPad左側に沿って載せます。

手順 17

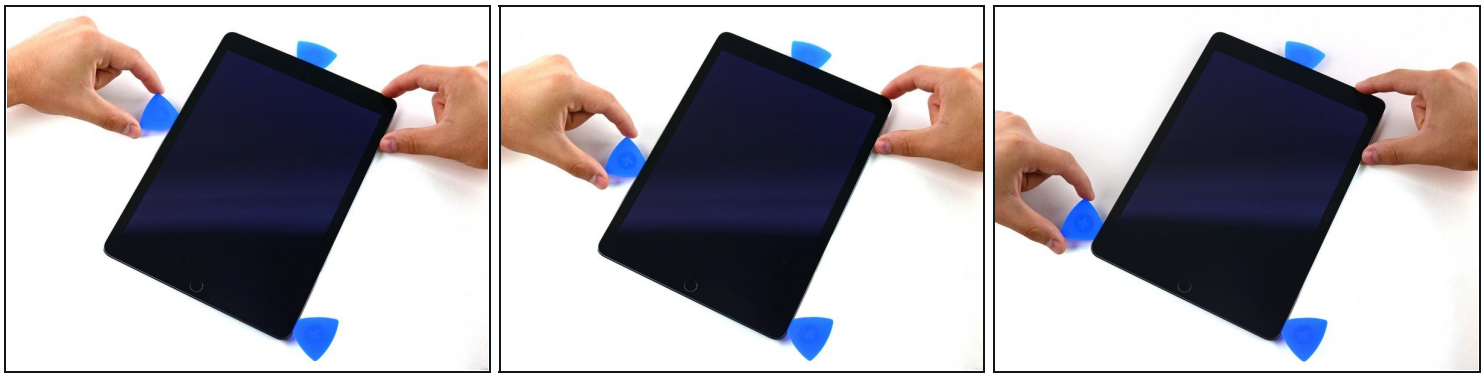
- 左側のディスプレイ半分付近まで、開口ピックをスライドします。

手順 18

- iPad右側に残している開口ピックを、右下コーナーまでスライドします。

ⓘ 必要に応じて、ディスプレイ右端上の接着剤を温めて柔らかくします。

手順 19



- 左側の開口ピックを、ディスプレイに沿ってスライドして、左下コーナーに到達したら止めます。

手順 20

- iOpenerを使って、iPadの下部端を温めます。

手順 21

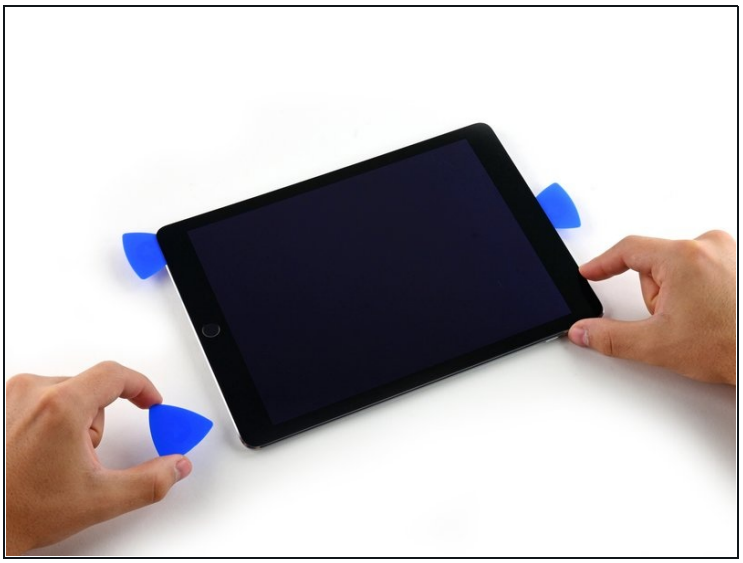
- iPadに残している右側開口ピックを、右下コーナーに沿ってスライドします。

手順 22

- 左側の開口ピックも同じ作業を繰り返します。

ⓘ iOpenerを必要に応じて温めてください。

手順 23



- iPad右下のピックを取り出します。

手順 24

- 左側開口ピックを、ディスプレイ左下の端にそってスライドしてから、iPadの右下コーナーから取り出します。

⚠ 開口ピックを0.5cm以上深くまで差し込まないようにご注意ください。ホームボタンやディスプレイケーブルにダメージを与えてしまいます。

このデバイスを再組み立てするには、逆の順番に従って作業を進めてください。